

令和7年度「南区基本計画推進部会」第3回会議 議事録

1 開催概要

(1) 日時

令和8年3月24日（火）午前10時～午後12時

(2) 場所

南区役所第2会議室

(3) 出席者

氏名	所属	備考
天野 広一	唐橋学区自治連合会会長、南区「はぐくみ」ネットワーク実行委員会世話役、南少年補導委員会南支部会長、南民生児童委員会会長	部会長
田中 一明	南区自治連合会会長、九条学区自治連合会会長	
尾崎 嘉彦	京都市立開建高等学校校長	
山田 正志	京都中小企業家同友会南支部	
横江 美佐子	南青少年活動センター所長	
小牧 徳満	クミンプロジェクト代表	
花里 尚悟	市民公募委員	欠席

（敬称略）

2 内容

(1) 開 会

(2) 挨拶

部会長 天野 広一

南区長 今井 邦光

(3) 議 題

南区まちづくり運営方針の策定について

<主な意見>

発言者	内容
横江委員	第3期南区基本計画と南区まちづくり運営方針（2026-2030）を見比べると、「災害に強く安全でやさしいまち」がとてもわかりやすい。だが、「みんなが健やかに暮らせるまち」の「みんな」の対象が曖昧である。
事務局	以前は未来像が7つもあったので、メリハリがなく総花的になってしまっていたが、その分網羅性があり、対象に隙間がなかった。今回重点化をしようということで、中心にみなみ力を置いたうえでほかの柱を置いたが、やはり隙間が出てくる部分が非常に気付きである。 集約する過程で、「みんなが健やかに暮らせるまち」では、子どもや若

	者、外国籍などの属性を全部取り払って入れ込んでいる。
尾崎委員	この運営方針は、とてもわかりやすくなったと思うが、「みんなが健やかに暮らせるまち」、これだけは「みんな」と対象を明示している。その下に説明もあり、対象を網羅していることからわざわざ「みんな」を入れなくてよいのではないか。
全員	それでよい。
山田委員	みなみ力の定義が記載されている点もよい。 また、キャッチフレーズの「みなみ力で誰もがつながり住みよいまち」は、住むことだけに重点を置いている印象を受けるので、「幸せになれるまち」というのはどうか。
横江委員	「わくわく」などの言葉が入るのはどうか。
小牧委員	「みなみ力」という言葉がとても馴染みが出てきており、それを構成している人や作っている人がいるイメージが伝わるとよいのではないか。
田中委員	簡単な言葉でわかりやすいものがよい。
事務局	キャッチフレーズについて「みなみ力でだれもがつながる」までは良いと思うが、残りの部分はどうするか。
尾崎委員	活気溢れるまちや、未来共創するまちもよい。
天野部会長	あらゆる世代が住めるまちもよい。
尾崎委員	夢という言葉はすごくよいが、未来などの言葉に置き換えるなど、みんなで作り上げていくというフレーズになればよいと思う。
横江委員	たくさんの意見があるので、事務局で検討してもらええるか。
事務局	様々な意見が出たが、共通するのは動的なイメージであり、事務局で検討させていただく。個別にご相談をさせていただいたうえで、最終的に4月の南区まちづくり推進会議で審議していただく予定である。 また、本日のこの会をもってこの南区基本計画推進部会は、最後になる。本当にこれまで長年ご尽力いただき、ありがたく思う。

3 閉会